

上古道守師幸輝

一般社団法人 日本占導師協会 代表理事



巻頭インタビュー

古来の学問をもとに心と体のつくりを徹底解明

陰陽師の教え —“病は氣から”をひも解く—

土佐一条家に仕えた陰陽師の末裔として、四国・四万十のほとりの村で生まれ育った幸輝氏。祈祷師である祖母を師とし、学んだ陰陽学の知識をもとに、「当てるだけの占い」ではなく「理想の未来へと導く占導」を確立する。心と体のつくりを知り尽くす陰陽師の教えからひも解く、“病は氣から”の本当の意味とは？

猪俣泰史子=文 櫻井健司=写真

人の幸せは、自分の幸せ“と
感じられることが
占導師の資質

——幸輝先生は、陰陽学をもとに「占導」の手法を確立されました」「占い」と「占導」の違いについて教えていただけますか。

がありますが、そのほとんどは未来や過去を予言し、「出来ない」「吉・凶」「良い悪い」を当てることを目的にしてしまっているように感じます。「占導」が大切にしているのは、当てるこではあります。依頼者の過去や現在を観て、今からどのように生きたらいいか、望む未来に転換するためにはどうすればいいかをお伝えしているのです。来る未来よりも、創る未来のほうが、人は幸せになれると思います。私は考えています。

よく古いで聞かれる質問の一つに「いつ結婚できますか?」というものがありますね。占いであれば、「今年の8月に将来の伴侶と出会います」と結果を伝えるでしょう。すると依頼者は安心して行動しなくなります。結果、望んだ未来を手にできなくなるかもしれません。

「病は氣から」という諺があるように、健康面で満足した生活を送るために、心と体の両方を健全に保つことが必要だとIH-TAでは考えています。私もそう思いますね。陰陽学において「身」という言葉は「心」を指します。「身から出た鎧」「身が引き締まる思い」という表現がありますが、この場合も「身」が指しているのは「体」ではなく「心」ですね。つまり「身体」というのは“心”と“体”的なこと。心と体の両方を整えてこそ、健やかな状態でいられるのだと思います。

占導師幸輝（せんどうし・こうき）
一般社団法人 日本占導師協会 代表理事
土佐一家に仕えた陰陽師の末柄四国、四十万のほとりの村で生まれ育つ。祈祷師である祖母を師とし、学んだ知識を元に当てるだけの占い師ではなく依頼者の理想の未来へと導く鑑定を主とした「占導（占って導く手法）」を確立し、この道30年の鑑定師。鑑定実績は対面鑑定だけで5万件以上。依頼者の人生を好転へ導く手法に定評がある。千二百余年前から続く四維八千（しひはっかん）という羅針盤を使い、相性だけでなく「何かの御御縁」の御御縁関係も分かる【御御縁鑑定】などに陰陽五行が時代とともに進化した【陰陽六行】を使って、依頼者の氣質（性の性質）と未来の歩み方を伝えている。現在は占導師の育成に尽力しながら、講演会やセミナーで全国開催中。

一般社団法人 日本占導師協会 <https://sendoushi.jp/>
占導師幸輝オフィシャルブログ <https://ameblo.jp/couki/>
あなたの性格・性質がわかるweb サービス
<https://kantei.sendoushi.jp/kanteis/trial>

